

2021年6月9日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

人工呼吸器患者における早期離床の障壁の変化と退院時歩行自立との関連を明らかにする多施設後向きコホート研究

### 2. 研究責任者

西村 将吾 海南病院リハビリテーション室 理学療法士

### 3. 研究の概要

人工呼吸療法中の安静が筋力低下など合併症の原因となり、退院後の患者さんの社会復帰を遅らせていると言われていています。近年、人工呼吸管理を行った患者さんを対象とした早期離床を進めるリハビリテーションが行われ、海外ではその安全性や有効性を示した研究が数多く報告されていますが、日本ではまだその評価は十分ではありません。

#### 目的

本研究では、集中治療室（以下ICU）での人工呼吸管理を行った患者さんに対し日常的に早期から離床を行っている施設で、標準的な方法での早期離床の実施と退院時の歩行自立との関連性について調査し、ICU入室中のリハビリテーション強度や離床を妨げる要因が退院時歩行自立に与える影響について検討することを目的としています。本研究により早期離床の有効性が確認され、人工呼吸器を必要とする患者さんの社会復帰を進める一助となることを期待しています。

### 4. 研究方法

#### 対象となる患者さん

当院集中治療室に入院した患者さんで、西暦2019年4月1日から西暦2020年3月31日の間にICU入室期間中に48時間以上の人工呼吸管理を行った18歳以上の方を対象としています。利用させていただくカルテ情報は下記です。

- ①患者さんの背景情報（診断名、年齢、身長、体重、性別、入院日ICU入室日など）
- ②ICU入室中の情報（重症度、薬剤治療の内容、栄養状態、人工呼吸器離脱について、血液検査データ）

③リハビリテーション実施状況,

④患者さんの転帰（疾患・怪我などの治療における症状の経過や結果、歩行自立までに要した期間、退院時歩行自立の有無）

#### 5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。個人を特定できる情報とは切り離したうえで使用します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

#### 6. 問い合わせ先・相談窓口

JA愛知厚生連海南病院リハビリテーション室 西村 将吾  
電話：0567-65-2511（代表）